

研究構想シート		学校名	松江市立本庄小学校
		氏名	谷戸 祐介
A 研究主題 自分の考えをもち、協働して問題を解決する児童の育成			
B 研究の目的 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで自ら進んで問題解決に向かう児童の育成。対話的に問題を解決する児童の育成 ・教員の授業力、団結力をさらに高める 			
C 子どもの実態 ○素直で元気 ○思いやり ○友達と協力し合って課題解決 ○何事も一生懸命 △考えたことを言葉で伝える力 △話し合い	E 手立て・内容・研究仮説 <研究仮説> 仮説①児童にとって、必然性のある学習課題を設定し、問いを工夫することで、自ら進んで問題解決に向かう児童が育つだろう。 仮説②考える視点を明確にし、目的をもって自らの考えを伝え合う場を設定することで、対話的に問題を解決する児童が育つだろう。 【手立て・内容】 ・本校の学習基盤となる「話す・聞く」力を高めるための柱（きまり）を設定する。 ・一人一人が研究主題と研究仮説をふまえ、今年度の課題を設定し、共有する。		D めざす子どもの姿 ○知 よく考え豊かに表現する子 ○徳 心優しく思いやりのある子 ○体 心身共に健康で粘り強い子
	F 検証方法 ・校内研究授業（一人一授業） →指導案の中に仮説に対する取り組みを明記することで、ふりかえりの協議で焦点化を図る。 ・研究協議 →研究協議では、授業者だけでなく、全員が自らの課題と照らし合わせて何を学んだかをふりかえり、今後どのように生かしていけるかをふりかえりや協議の視点とする。 →仮説①②に焦点をあてた話し合いをすることによって、効果的な取組等を含め、仮説の検証ができるようにし、年度末、次年度に生かす。 ・校内研修（夏季休業、放課後または職員会議） ・アンケート調査（児童・教員） ・年度末のふりかえり		
	G 研究計画 【1学期】 ・今年度の見通し（職員会議） ・個人の研究テーマの設定、教材研究 【2学期】 ・校内研究授業 ・校内研修 ・アンケート調査 【3学期】 ・アンケート調査 ・研究のまとめ ・ふりかえり、次年度の計画案作成		